

協調的問題解決における役割と思考スタイルの 一致／不一致による課題達成の差異

1432065 佐藤信之介

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

社会では他者と共に仕事を行うことが多い。経済産業省が提唱した社会人基礎力という概念には3つの能力があり、その中の1つとして協調性に関する能力が定義されている。さらに、2010年の経済産業省の発表では、社会で活躍するために必要な能力要素として多くの企業がコミュニケーション力やチームワーク力であると回答しており(経済産業省, 2010)、協調性を重視していることが分かる。

協調的問題解決では、課題を解く人達それぞれの役割が重要になることが知られている。本研究では、個々の役割と、個人が備えている特性に注目し、それらの一致の程度による問題解決への影響について調べていく。

また、本研究では個人が備えている特性としてスターンバーグ(1997)が論じた思考スタイルを扱う。思考スタイルとは能力の使い方や物事の考え方の好みのことである。スターンバーグ(1997)は、職場の業務内容が個人の思考スタイルが好む方式に当てはまっているかにより実力が発揮できるかが変化するかとしている。

2. 目的

本研究では思考スタイルに着目し、協調的問題解決との関連性を調査した。思考スタイルと役割の関係は、他の参加者や課題・課題中の役割に対する満足度に影響を及ぼすと考えられる。特に、思考スタイルと役割の一致／不一致が協調的問題解決に影響を与えるかを検証した。

3. 実験

3.1 方法

実験計画：思考スタイルの要因として役割と思考スタイルが一致している「一致条件」と「不一致条件」の一要因二水準参加者間計画で実験を行った。

実験参加者：千葉工業大学情報ネットワーク学科3年生・4年生16名(男性14名/女性2名)が実験に参加した。事前調査となる思考スタイルの測定結果に基づき、一致条件に3組6名、不一致条件に5組10名の参加者が割り当てられた。

材料：本研究では実験の課題としてトレンドマイクロ社の「インシデント対応ボードゲーム」を使用した。このボードゲームは、企業で発生したインシデントを解決できるように、プレイヤーが協力して解決策を決定するゲームである。さらに、実験終了後のアンケートとして、『課題に対する満足度』、『協調活動に対する満足度』、『役割への満足度(抵抗度)』を調べるために5段階評価(1.全くそう思わない-5.非常にそう思う)で7項目のアンケートを作成した。アンケートの質問項目は以下のとおりである。

- ①今回のボードゲームで満足する解決策を決めることができた
- ②解決策の決定に貢献できたと思う
- ③相手は解決策の決定に貢献していたと思う
- ④ペアの相手と協力できた
- ⑤ペアの相手と作業がしやすかった
- ⑥自分の役割はやりやすかった
- ⑦相手の役割が自分に合っていたと思った

手続き：各参加者の組で片方の参加者には解決策を提案する役割を与え、もう片方の参加者には提案された解決策を評価する役割を与えた。

実験の説明後、参加者はどのようなインシデントが発生したのかを5分で把握した。その後10分間の話し合いを2度行い、2度の話し合いを通して解決策を2つ決定した。解決策を決定したのちに、最終的にどの解決策を選んだか、また、なぜその解決策を選んだのかを振り返りシートに記入した。最後にアンケートに回答し、実験を終了した。

3.2 結果

表1に各条件における7つの質問項目の点数の平均値を示す。

表1:アンケートの条件ごとの平均点

設問項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
一致	4.3	4.0	4.7	4.3	4.3	4.0	2.8
不一致	3.9	3.9	4.6	4.6	4.3	3.3	3.2

各質問項目の平均点の差を対応のないt検定により検定した。その結果、各条件における平均点の差について、どの質問項目についても有意な差は見られなかった。

4. まとめ

今回の実験では思考スタイルと課題中の役割が一致しているか否かで有意差は見られなかった。しかし、『課題に対する満足度』と『役割への満足度(抵抗度)』に関しては中程度の効果量が確認された質問項目があったことから、この条件で結果を出すには参加者が少なかったという可能性が考えられる。

参考文献

- Sternberg, R. J. (1997). *Thinking Styles*. Cambridge University Press (比留間太白・松村暢隆(訳) (2000). 「思考スタイル—能力を生かすもの—」新曜社)
- 経済産業省 (2010). 大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査<<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/201006daigakuseinosyakaijinkannohaakutonintido.pdf>> (2017年11月22日)